

## 平成25年度「市長と語りあう会」について

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
5月15日（水）	小野地区振興センター	19:00～20:37	21	7	28

#### ○市側出席者

市長、副市長、総務部長、経営企画部長、秘書広報室長

### 2 会の概要

#### ○開会（秘書広報室長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 副市長紹介(副市長自己紹介とあいさつ)
- ・ 出席者紹介

#### ○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

##### (1) 平成25年度施政方針から基本指針について

###### ① 人口拡大への挑戦

- ・ 人口拡大は難しい目標だがあらゆる施策が人口拡大につながるように考えて取り組むこと。
- ・ 市民の幸福のバロメータとして人口を捉えていること。嫌な町からは人は出て行くし、好きな町には人が入ってくる。これが足による投票と言われ町の評価に繋がる。
- ・ 人口は経済の規模にも繋がるし、消費の大きさも人口に比例する。
- ・ 人口の増減には社会増減と自然増減があり、社会増減策はU I ターン奨励と企業誘致、自然増減は子育て支援と、健康維持策に取り組む。さらに、これに加えて交流人口の拡大に取り組む。

###### ② 財源の効率的配分

- ・ 益田市における歳入財源の最大なものが交付税であるが、合併算定替えにより、平成31年には現在より11億円減額される見通しであること。
- ・ 今後扶助費が漸増し、市債の償還も見込まれ財政を切り詰めなければならないこと。

###### ③ ネットワークの構築と活用による産業の活性化

- ・ 市内部だけでなく、商工会議所等各種団体及び他の自治体、県、国との連携に努めること。

##### (2) 現在取り組んでいる課題、今後取り組む課題

###### ① 学校給食センター整備事業について

- ・ 現在の施設が衛生安全基準を満たしていないこと。
- ・ 学校給食センター整備にあたっては、食育、地産地消、食中毒等の危険分散、多面的な主体による給食の提案等の観点からこれまでの1箇所設置から複数設置にしたいこと。
- ・ 市議会での議決が得られていないが、なるべく早い段階で議会に提案したいと考えていること。

###### ② 高津川ラインガルテン等整備事業について

- ・ この事業の目的は交流人口の拡大であること。
- ・ 当初候補地(国営農地開発白上町内)周辺の水質調査結果が飲料用に不適切であったため、当初案の採算性及び予定地について再検討する必要があること。

###### ③ 地域医療体制の充実について

- ・ 益田赤十字病院における産科医の体制の現状。平成25年3月に1人退職したが、島根大学の支援を受けていること。
- ・ 脳神経外科の状況。脳神経外科設置のためには、最低3人の医師チームが必要であること。また、救急医療に対処するためには5人の医師チームが必要であること。
- ・ 脳神経外科医の医療技術を維持するための症例数確保には、30万人の人口規模が必要であること。

- ・ 緊急事態の際に、脳神経外科等設置されている病院までの迅速な搬送ができるようヘリポートや道路網の整備に努めること。
- ④ 防災対策と危機管理体制について
  - ・ 津波ハザードマップについて。
  - ・ 標高表示について、市道沿いにも標高表示をすること。今年度予算100万円
- ⑤ 空港の利用促進と道路整備について
  - ・ 現在の飛行時間帯では利用しにくいことから、萩・石見空港東京便2便化と大阪便の定期再開にむけて要望していること。
  - ・ 空港開港20周年式典を7月2日に予定していること。
  - ・ 三隅・益田道路の早期開通と、益田・萩間の早期事業化に努めること。
- ⑥ 都市間交流の推進について
  - ・ 高槻市。旧匹見町が姉妹都市締結したこと。その縁で、高槻市、益田市、若狭町と防災協定を締結する予定であること。
  - ・ 川崎市。これまでスポーツ関連での交流を進めてきたが、今後は幅広く交流を進める予定であること。
  - ・ 豊中市。伊丹空港所在自治体として、大阪国際空港都市サミットを開催すること。空港を核としたまちづくりに取り組んでいること。
- ⑦ 企業誘致の推進について
  - ・ 市内に雇用の場が少ないことが、18歳以上の年齢層が激減している理由であること。その解決のためには企業誘致が即効性があること。
  - ・ 現在、ファクトリーパークに強い関心を持っている企業が1社あること。

(2) 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ① 標高表示について。
- ② 宮田川について。
- ③ 海岸の護岸について。－ 1
- ④ 海岸の護岸について。－ 2 (②、③と関連質問)
- ⑤ 浜田市と益田市の格差について。
- ⑥ 農産品の振興について。
- ⑦ 国営農地開発事業分担金の未納について。
- ⑧ 喜阿弥川の水質について。
- ⑨ 医療機関の充実について。
- ⑩ 航空料金について。
- ⑪ 幼稚園の支援について。
- ⑫ 市道整備について。
- ⑬ 市議会議員が自治会長をしている実態について。
- ⑭ 萩市の救急車について。－ 1
- ⑮ 萩市の救急車について。－ 2
- ⑯ 益田の市医療機関の医療技術について。

○ 閉 会 (秘書広報室長)

○ あいさつ (山本市長)

## 平成25年度「市長と語りあう会」

〔会場 小野地区振興センター〕 開催日時：平成25年5月15日（水）19:00～20:37

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 標高表示について。 標高表示の場所については、地元の要望も聞いて頂けるか。 設置する前に事前に相談して頂ければありがたい。</p>	<p>① 平成25年度については、100万円の予算で100箇所の設置を予定している。以降は、随時対応していく。 設置場所については、地元の要望も聞くことが大切だと思うので、持ち帰って検討する。</p>
<p>② 宮田川について。 宮田川に砂が堆積するため、排水が悪い。最近ようやく対策を取ってもらったが、時化るとまた元に戻る。 沖に、消波ブロックを設置することは受益者が少なく難しいと言われたが、河口付近の住宅は時化ると家が揺れたり、波が住宅近くにまで押し寄せてくる状態である。またJRの線路下の暗渠までも波が来る時がある。小浜や喜阿弥には消波ブロックが設置されていることから、同様をお願いしたい。 危機管理課には既に伝えており、浜がなくなって危険な状態なので何とかして欲しい。</p>	<p>② 持ち帰って検討する。</p>
<p>③ 海岸の護岸について。－1 海岸の護岸は、県管理、市の管理があると思うが、老朽化している。これまで、議会報告会でも訴えてきた。 波が護岸を越えて家にくることもある。現在木部地区で、同様の工事をしているが、そちらが終わったら次は小浜で取組んで欲しい。</p>	<p>③ 検討する。</p>
<p>④ 海岸の護岸について。－2（②、③と関連質問） 昭和60年代から全国的に海岸の浸食がひどくなってきた。持石から小浜の間の海岸に遊歩道があるが、3月10日、4月10日に高潮があり、特に4月10日には30cmの石が遊歩道の上に運ばれ、宮田川にも堆積した。消波ブロックの設置を希望する。</p>	<p>④ 切実な要望として受け止める。</p>

要 望 事 項 等	回 答
<p>⑤ 浜田市と益田市の格差について。 浜田市と益田市の格差が大きくなったように思う。それは、県の金を持ってくる力の差によるものだと思うがいかがか。</p>	<p>⑤ 益田市と浜田市との予算の格差があるのは、まず時期によるものもあると思う。例えば近年は浜田・三隅間の道路が建設中で、益田は未着手であること。矢原川ダムの計画が中断中であること。 次に、大学、港、更生施設等の国県の施設の有無も関係していると思う。 益田市も粘り強く県に要望し続ける</p>
<p>⑥ 農産品の振興について。 益田市ではトマト、メロン、ブドウが主な農産物と思うが、それ以外の作物は考えていないのか。</p>	<p>⑥ 併せて、ユズ、ワサビにも力を入れていきたい。</p>
<p>⑦ 国営農地開発事業分担金の未納について。 未納額については一旦市が立替えているとの新聞報道があったが、財政難の中で大変と思う。 対策は。</p>	<p>⑦ 未納金については頭が痛い。国営農地開発事業は、当初の計画面積から縮小されたことにより面積当たりの単価が上がったと聞いている。また、農業の状況も変化し償還が難しくなった農家もいる。今後も農業振興に努めると共に、最後まで収納対策に取り組んでいく。</p>
<p>⑧ 喜阿弥川の水質について。 喜阿弥川の水が臭い時がある。要因は、開発農地の肥料だと聞いた。クラインガルテンの計画にはそのことも念頭に入れて考えて欲しい</p>	<p>⑧ 喜阿弥川の排水については調査する。</p>
<p>⑨ 医療機関の充実について。 医療機関をより充実して欲しい。</p>	<p>⑨ 新しい赤十字病院には、若手医師の研修施設や、看護師の働く環境の整備に努めると伺っている。引き続き、支援していく。</p>

要 望 事 項 等	回 答
<p>⑩ 航空料金について。 先日萩・石見空港を利用した北海道ツアーのチラシを見た。8～9万円程度の商品であった。同様のツアーが、岡山空港では北海道2泊3日4万円とは、広島空港では4.2万円というのがあり、かつ月に2、3便ある。 地方空港は利用者が少ないから高額の商品となっているように思うが、地方は給与も安いので利用しにくい。より安価な商品になるようにANAに働きかけて欲しい。</p> <p>⑪ 幼稚園の支援について。 幼稚園の教諭の就労条件は厳しく、保育士との給与格差もある。 また、幼稚園児と保育園児は学力差もあることから、認定幼稚園を設けるなどして就学前の学力差を少なくすようにして欲しい。</p> <p>⑫ 市道整備について。 先日、空港を利用して益田を訪問した高齢者の団体が、戸田の柿本神社を参ろうとしたが、小野地区振興センターに大型バスを駐車し、歩いて神社まで行った。当日は暑い日で途中日陰もなく苦労されたように思う。その人たちは、折角益田市内を観光されたのに、もう二度と来られないだろう。 市道を整備し、バスが通れるようにして欲しい。</p> <p>⑬ 市議会議員が自治会長をしている実態について。 市議会議員が自治会長をしている実態があるが違和感を感じるがいかがか。</p> <p>⑭ 萩市の救急車について。－1 萩市の救急車が191号線を走っているのを見かけるが、いかがか。</p>	<p>⑩ 旅行商品が割高になっているかどうかについては把握していないが、航空運賃に差があることは承知している。新幹線と飛行機利用が競合する所は航空運賃を安くしているようだ。また萩・石見空港はもともと不採算路線だから安価に出来ないというのがANAの見解である。今後利用者を増やすよう努める。</p> <p>⑪ 益田市内では、幼稚園、保育園共に全て私立であることから、逆に多様なサービスが選択できる環境にある。幼稚園と変わらない保育園もあり、多様なサービスを選べるのは良いことだと思う。しかし、学力に差があれば問題なので研究課題とさせていただきたい。</p> <p>⑫ 空港利用の問題点の一つに、益田市が他の観光地の通過点にしかなくなっていることがある。観光資源の道路対策は重要な課題である。どういふ点に重点をおいて観光振興策を進めるか今一度検討する。他にも大型バスが入らない施設がある。例えば、大喜庵、万福寺等。色々なコースを想定して検討すべきと考える。</p> <p>⑬ 明確には申し上げにくいですが、自治会長は地域の世話役として活躍されており大変ありがたいと思っている。議員は立候補して市民の支持を得て当選した後は市民の世話役をされていることから、それはそれで貴重な事だと考える。</p> <p>⑭ 医療対策は単位は県が単位であるが、益田医療圏域は三隅町、須佐町、田万川町も含めた範囲で設定されている。 また、ドクターヘリ中国5県の連携協定を結んでおり、医療対策も広域化している。 なお、萩市長からも益田市の医療対策には感謝頂いている。</p>

要 望 事 項 等	回 答
<p>⑮ 萩市の救急車について。－ 2 萩市からの救急車で運ばれてきた患者を県境付近で中継し益田市内の病院に搬送する方法いかがか。</p> <p>⑯ 益田の市医療機関の医療技術について。 益田市の医療技術は10年遅れていると聞く。益田市で対応出来ない高度の技術が必要な場合には、それに対応可能な他の医療機関を紹介して欲しい。</p>	<p>⑮ 遠方からの患者であれば効果的だと思うが、萩市からの救急車は、須佐町、田万川町の方が多い。</p> <p>⑯ 都市の大病院では最先端医療を受けられるが、益田市はその点では完全とは言えない。しかし、世界水準からすると、日本の医療は低コストで、かつ皆保険制度がありどこでも治療が受けられる。 日赤病院も優れた医療が出来るように工夫しており、また市内の病院も人脈づくりに努めている</p>